

平成30年9月27日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院に、悪性黒色腫あるいは色素性母斑で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学人体病理学教室/病理診断科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

皮膚および粘膜の悪性黒色腫におけるアディポフィリン発現の検討

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学人体病理学講座 助教 藤本 正数

3. 研究の目的

皮膚あるいは粘膜の悪性黒色腫あるいは色素性母斑と診断された患者さんで、病理組織標本におけるアディポフィリンという蛋白質の発現を検索し、新しい病理学的予後不良因子を検索します。この研究により、さらに精度の高い予後予測が悪性黒色腫において将来的に可能になるかもしれません。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

平成8年1月1日から平成30年7月31日までの期間中に、皮膚あるいは粘膜の悪性黒色腫あるいは色素性母斑と本学で診断された方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、本学で切除された病理組織に関する情報(病理診断名、性別、切除時の年齢など)です。また腫瘍の病期、再発の有無、御存命かどうかを見るためにカルテから診療情報を利用しますが、個人情報が公表される事はありません。

(3) 方法

本学附属病院に保管されている病理組織を用いて、アディポフィリンの発現を免疫染色およびRNA in situ Hybridization という方法で検索し、アディポフィリンが病理学的予後不良因子となるかどうかについて検索を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学人体病理学講座 担当医師 藤本 正数

TEL:073-441-0635 FAX:073-444-5777 E-mail:fujimasa@wakayama-med.ac.jp